

レジ袋税とエコシール制度



B 班発表者：桐生、白石、塚本、延川



記事の要約

- スーパーやコンビニのレジ袋が有料化される見込みだ。レジ袋がプラ容器ごみに占める割合は15%程度と大きく、今後増加する見込みであるため、リサイクル能力が追いつかなくなると懸念されている。容リ法改正案では、レジ袋の有料化を求め、報告を義務付けた。有料化した場合の価格は、1枚5～10程度とみられる。こうした出費とごみの排出を抑えるため、環境省がマイバッグの普及に力を入れている。

レジ袋の現状

- 現在の使用量：
 - LLサイズ305億枚/年
 - 国民一人当たり約300枚/年間
- 家庭での再利用状況：
 - 約7割が単なるゴミとして廃棄
- 容器包装リサイクル法の効果：
 - ゴミとして廃棄される事が多い
- 容器リサイクル法(環境省など)とは：
 - 消費者、自治体、事業者の責任分担で容器包装廃棄物を減量化することが目的。対象事業者は対象容器包装の使用量または製造量に応じて、再商品化（リサイクル）が義務付けられている

レジ袋が与える環境負荷

● レジ袋 1 枚を製造する際に、原油18.3mlを使用

→年間使用量305億枚の製造に原油を約55.8万kl使用

➡ 循環型社会にふさわしくない

● 散らばったレジ袋が生物に悪影響

→イルカやウミガメがクラゲと誤飲して死亡

レジ袋削減による資源節約の極例

全ての国民が5年に一度マイバックを
買い替えるという設定

- ・ 資源(廃棄物)として年間約38万トン
- ・ 石油エネルギーとして74万キロリットル
が節約できると試算されています。

日本中の家庭で消費する
総エネルギーの1.3%相当

(京都大学環境保全センター調べ)

現状の対策

● マイバッグ運動

⇒自分でバックを持ってきて買い物をした後に、スーパーの袋をもらわずに、その持参したバックに買った物を入れて持ち帰る運動

● ノーレジ袋デー

⇒店側からレジ袋が配布されず必要な場合には客が購入する日

● エコシール制度

⇒エコシール協力加盟店でレジ袋を断った客に対してシールが配布され、シールがたまると商品と交換できる制度

● レジ袋の有料化（現在国会で検討中）（環境省）

⇒レジ袋が無料で配布されず必要な場合には客が購入するというシステム
容器包装リサイクル法の改正案

杉並区で考えられている政策

●レジ袋税の導入

→1枚利用につき5円の課税



マイバッグ利用者が7割に増加すると予想

(2004年杉並区調査)

税収は環境保全施策に使われる。

* まだ実際には施行されていない

レジ袋税とは

- 使われるレジ袋1枚に課税する『環境目的税』
- 客が税を上乗せして店に払い、店がその税収を一括して国に納める

海外での実績

アイルランド：レジ袋21円/枚の課税

→9割以上の削減効果

韓国：レジ袋5円/枚の有料化規制

→6割以上の削減効果

レジ袋税導入のメリット&デメリット

メリット

- レジ袋使用量が削減される
- ⇒ 環境が改善される
- ⇒ 企業(スーパー等)のコストの削減に有効
- 税収 獲得
- マイバック使用の促進

デメリット

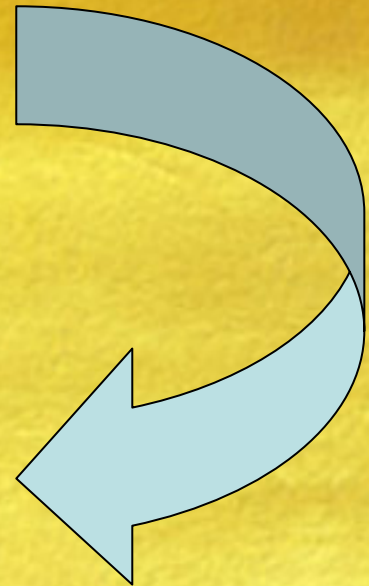
- 消費者の出費の増加

私達が賛同し提案する事

●杉並区のレジ袋税の全国的な導入

●エコシール制度の全国統一化

全国的なレジ袋使用量の削減
消費者間の公平性が保たれる



私たちの提案の仮定

税率：5円に設定（杉並区、韓国にならう）

レジ袋税の対象外：

- ・ それ自体が商品として販売される袋
- ・ 生鮮食品を直接入れる袋
- ・ 工場で生産された製品を包装する袋（台湾にならう）

エコシール獲得の条件：

エコシール協力加盟店でレジ袋を断った客
に対してシールが配布される。

全国的レジ袋税の効果(企業)

レジ袋 1枚(LLサイズ)=3.5円

年間：305億枚 (平成14年度のデータ使用)

課税によりレジ袋の使用をやめる人：60%

(韓国をモデルに)

日本全国の企業のコストの減少の合計

$305\text{億枚} \times 3.5\text{円} \times 0.6 = 640.5\text{億円}$

企業のコストの減少 ⇔ 企業の利潤増加

全国的レジ袋税の効果（政府）

【仮定】

レジ袋税：5円（1枚）

課税によりレジ袋の使用をやめる人：60%

年間：305億枚

税収

$305\text{億枚} \times (1 - 0.6) \times 5\text{円} = 610\text{億円}$

税収の用途⇒消費者に特典として還元する。

※人件費、宣伝費、エコシール費、等を差し引いて

全国的レジ袋税の効果（消費者）

【費用】

ゴミ袋として使用できないためにかかる代用品の費用
 $305\text{億枚} \times 0.3 \times 3.5 = 320.35\text{億円}$

【便益】

エコシールによる特典がもらえる。（税込による還元）
例）環境負荷の小さいゴミ袋：1枚7.8円

環境が改善される。⇒CVM等のアンケートによって導き出す

⇒消費者の費用<便益となるように税込を使いエコシールの特典を設定する。

結論

全国的なレジ袋税を導入



レジ袋使用量削減のインセンティブを生む



企業 : コスト削減

消費者 : エコシール制度によるレジ袋税の還元
環境が改善される

参考文献

- NPO法人 循環型社会研究会 <http://www.nord-ise.com/junkan/Suginami.pdf#search>
- レジ袋削減海外視察報告書：杉並区
http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/reji_sisatu_hokokusho.pdf#search
- POFレジ袋情報局
<http://www.pof.or.jp/regigomi/>
- 環境省
<http://www.env.go.jp/>
- ごみっと
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/sun3/sun45-6276.htm>